巌流島 （下関市）

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北九州市を中心とした福岡県及び山口県その周辺地域の産業発展に貢献しています

NPO法人　北九州テクノサポート
〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL:093－873－1453　FAX:093－873－1453
E-Mail:info@npo-kts.org URL:http://www.npo-kts.org/

Vol.45
2025年 夏号

第23回通常総会の冒頭挨拶　　会長　影山　隆雄

第23回通常総会の開会にあたり、一言挨拶を申し上げます。

本日は、猛暑の中、総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、会員の皆様には平素からNPO法人北九州テクノサポートの活動にご参加とご協力を賜りまして、お礼申し上げます。

日本経済は、緩やかな成長が予測されるものの、海外経済の減速や米国関税政策の影響が懸念材料となっています。 一方で、デジタル化や脱炭素投資が企業の設備投資を支え、成長を促進する要因となることが考えられます。

これら社会情勢の影響を受けながらも昨年度、当法人は、EA21地域事務局環境未来が、全国の35地域事務局の中で新規認証登録件数においてトップの成果を上げると共に、技術・環境経営ものづくり支援Gr.が、環境共創イニシアチブの省エネルギー診断拡充事業や鋼材焼き入れ後の変形修正ロボットの実現に向けた補助金事業の新規獲得など大きな成果を得ることができました。

今年度は、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)の実現にとってEA21認証登録が重要であることをご理解いただき、昨年度から受託した省エネルギー診断拡充事業との連携を強化して更なる登録企業拡大に力を注ぐ計画です。

インターンシップのコーディネート事業は、コーディネーターの若返りを図って受入企業の登録支援を進めます。 ビジネスマッチングを支援している展示会「課題解決EXPO2025」が７月2日から西日本総合展示場にて開催される予定であり、コーディネーターの研修を含めて準備を進めていますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、本日ご臨席の皆様方のご健勝と会員企業の皆様の益々のご隆盛、ご発展を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 2025年度　北九州テクノサポート通常総会開催

2025年度総会（第23回通常総会）が6月20日(金)、北九州市立商工貿易会館5階501会議室において当法人会員のみの出席で開催されました。
開始に先立ち、会長挨拶に続いて事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(影山会長)により議事が進められ、以下の4議案の報告がなされ、採決が行われ、4議案とも了承・可決されました。なお、本総会に引き続く「特別講演」は会員に加え各界からのご参加を得て実施されました。

◇ 2024年度事業報告（事業総括）◇

2024年度の日本経済は、自然災害や自動車の工場稼働停止、実質賃金の回復遅れなどもあって、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、マイナス金利の終了や日経平均株価の史上最高値更新など、インフレ経済への回帰が見られた。個人消費の復調やインバウンド需要の好調が景気を支えたが、円安や人手不足、海外景気の減速が逆風となり、通年の成長率は主要7カ国の中で最も低い伸び率になった。一方、九州経済は、円安や国際的な原材料価格の上昇がマイナス要因となったものの、全体として、半導体関連産業の投資が堅調で、設備投資の活発化が、全国を上回る九州経済の成長を牽引する年となった。

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、コロナ後の経済活動の正常化に対応すべく、従来の技術経営ものづくり支援グループ(Gr.)と環境・省エネ支援Gr.を統合して、技術・環境経営ものづくり支援Gr.とする組織再編と国税庁の新「収益認識に関する会計基準」に対応するためEA21の地域事務局「環境未来」が抱える前受金処理の明確化に取組んだ。その結果、技術・環境経営ものづくり支援Gr.は、省エネルギー診断拡充事業や鉄道レール部品製造工程自動化FS事業を新規に受託する成果を上げることが出来た。また、EA21の地域事務局の前受金処理の膨大な事務計算処理にPythonを適用することによって明確化できた結果、正味資産額が従来の半額程度になったが、NPO法人として監督官庁や受託先の信用を失うことは無いレベルであることが確認された。さらに展示会におけるビジネスマッチング事業は、入場者数はコロナ前を上回る水準まで回復するとともに、コーディネーターによる商談見込み金額が9千万円を超えるといった成果が得られた。

KTSは、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用支援グループが整備したオンライン会議ツールTeamsとZoomなどを駆使しながら、第4次産業革命の勉強会やKTSの会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、各Gr.内又はGr.間連携並びにEA21地域事務局を通じて事業活動を展開した。

➡（各支援Gr.活動報告は2ページ以降に掲載）

◇ 2025年度事業計画（基本方針）◇

2025年度の日本経済は、緩やかな成長が予測されるものの、海外経済の減速や通商政策の影響が懸念材料となっている。日本銀行の見通しでは、消費者物価指数(CPI)の伸び率は2%台前半で推移し、金融政策の正常化が進む可能性がある。また、米国のトランプ政権の政策が世界経済に影響を与える可能性があり、日本の輸出や企業収益に不確実性をもたらすと考えられている。一方で、デジタル化や脱炭素投資が企業の設備投資を支え、成長を促進する要因となることが考えられる。全体として、日本経済は内需を中心に底堅い成長を維持する見通しだが、世界経済の動向や政策の変化に注意が必要になる。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、昨年度に引き続きMicrosoft 365 BusinessによるリモートワークⅡ環境での情報共有を進め、本年度も繰り返し事務作業についてPython・VBAを活用した自動化に取組み業務効率向上を進める。また、受託事業については、①省エネルギー診断拡充事業、②タイ国高度人材インターンシップ受入企業開拓業務をはじめ、③インターンシップのコーディネート事業は、コーディネーターを増やして受入企業の登録支援を進める。④ビジネスマッチングを支援している展示会は、製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアにDX推進フェアを加えた「課題解決EXPO2025」が７月上旬に同時開催される予定であり、コーディネーターの研修を含めて準備を進めている。⑤エコアクション21地域事務局は「環境未来」として6年目となるが、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)実現に認証登録が重要であることをご理解いただき登録企業拡大に力を注ぐ計画である。

その対応方針は、支援を必要とする企業をこまめに探し、その課題解決にグループ横断で協力して対応し、その企業の成長を支援し、地域の一層の発展に貢献することを目指す。組織的には定年年齢の引き上げに伴って高齢化が進んでいるが、企業OBとして豊富な経験・知識・人脈を持ち活動意欲のある人材を仲間に呼び込み、その力を活かし地域の他の組織と連携や協業を進め、実働部隊・つなぎ役として地域産業を下支えする活動を促進する計画である。

➡（実施計画は6ページに記載）

◇ 定款一部変更 ◇

近年、KTS会員として現役の若い世代の入会が見られ、将来を見据えた運用体制を考えた場合、定款第3条、第7条、第16条に関する条項の一部変更が望ましいと考えられるため、この変更について正会員の賛否を問う。

（以下に要点を抜粋する。）

・第3条（目的）；①法人構成を「シニア世代」に加え「意欲を持ったより若い世代」を追記、 ②事業項目中の「IT化、環境保全」を「情報技術活用、環境保全・省エネ」に見直し、 ③活動地域を「北九州・山口地区」を「北九州市を中心とした福岡県及び山口県その周辺地域」に見直し

・第7条（入会）；会員条件をシニア世代とした限定表現を削除する

・第16条（任期）；1年を2年に変更

◇ 役員改選 ◇

任期満了に伴う役員改選として「役員選任規定に基づき選考委員会を開催し次のとおり検討した。

（新任理事）6人　石川　聖二、川原　正明、木通　和洋、蔵元　泰子、納富　信、増本　耕平
（再任理事）11人 影山 隆雄、日下　尚司、関屋　建三、手島　邦彦、寺山　雅也、林　慶三郎、古谷 長蔵、堀　昭三、松本　昭喜、吉田　剛、渡邊 朝子
（退任理事）1人 徳永 昌哉
（新任監事）1人 徳永 昌哉
（再任監事）1人 藤﨑 正昭
（退任監事）1人 吉開 悟

Topics 2. 北九州テクノサポート通常総会開催に寄せて

北九州市　産業経済局長　　柴田　泰平

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、設立以来、永年の企業勤務を経て得た豊富な知識と経験を活かし、地域企業への技術開発や現場改善の支援をはじめ、地元大学生のインターンシップ受入企業の開拓や、ビジネスマッチングなど、地域企業の支援に多大なるご尽力をいただいております。

この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、中小企業を取り巻く社会・経済環境を見渡すと、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少したことによる深刻な人手不足、そして、エネルギーや原材料をはじめとした物価高など、常に大きな変化に直面しています。

直近では、米国による関税措置が、北九州市を支える製造業や運輸業、輸出企業など、幅広い企業の経営に影を落としています。

こうした中、北九州テクノサポートの皆様におかれては、「ものづくりのまち」北九州をしっかりと支え、地域の産業振興に貢献していただき、大変心強く思っています。

他方、北九州市の人口動態には明るい兆しも見えてきています。

昨年、市内への転入者数が転出者数を上回り、実に60年ぶりに人口転入超過を達成しました。1964年以来、止まっていた人口が増加に転じたことは、まさに北九州市「反転攻勢」の兆しとなる明るいニュースです。

この流れを確かなものとし、北九州市の更なる成長を実現するためには、官民がこれまで以上に強固なタッグを組み、都市の総合力を高めていく必要があります。

今後も、北九州市の明るい未来の実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続き、北九州テクノサポートの会員の皆様の変わらぬご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴法人のさらなるご発展とご健勝を心から祈念して、挨拶とさせていただきます。

2024年度各支援グループ活動実績

◇ 技術・環境経営ものづくり支援Gr. ◇

1.技術経営支援活動

1) 地場の産学官連携を活用した企業課題の解決に向けた企業支援活動の促進として、K社からの“ロボット化FS”事業の受け皿となりFSを主体的に実施した。

2) KTSの他活動と連携し、企業課題の把握とコンタクトを進め課題抽出の体制強化として、インターンシップ・ビジネスマッチングの活動に参加し、企業とのコンタクトを進めた。

3) よろず相談対応力強化・・様々なニーズに対応できる体制構築と親身なサポートの実施として、2社から支援依頼がありコンタクトし課題を把握した。

4)省エネ診断の促進　省エネ診断の利用を地場企業へ働き掛けとして、SIIクイック省エネ診断の受託により5件の診断を実施した。

5) P社の事業の基盤強化への協力として、省エネニーズの掘起し等また、PR資料作成・地場のユーザ企業の紹介を通じ事業拡大の支援を行った。

6)プラスチック油化の技術を有するE社の事業拡大への支援として、協働者の紹介や実設備の設置に向けた動き等、実用化に向けた支援をおこなった。

2.KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR

1) グループメンバーのキャリアと資格などのリスト化と、活躍の場の探究は停滞した。

2) 技術研修会等の企画（2回/年程度）：地場企業からのニーズとFAIS等のシーズのマッチングを目指した研修会の開催として、企業とのプロジェクト実践の中で経験、また、また、個々人がFAIS等主催のDX推進セミナー等に参加した。

3) KTS全体の情報交換会（3回/年を目標に進める）は、組織横断的研修会が実施出来なかったので2025年度には実施する。

3.補助金活用や販売ルート開拓等の経営力向上支援

1) 中小企業向け（技術関係の）各種補助金獲得支援の推進は、ものづくり補助金などの事業がなく、活動が停滞した。

2) 省エネ関係補助金の情報収集と地場企業へのPRは、SIIからのクイック省エネ診断が始まり5件の対応を行った。

3) 地元合馬産の竹粉販売への関わり強化は、合馬地区の生産所の動きも鈍化し活動が停滞した。

4) 竹粉の効能を分かり易く説明した資料の整備と販売事業の支援は、地元の知合い2社にサンプル提供した。

4.公的機関からの仕事の受託促進

1) 公的機関（国・県・市）からの委託事業の開拓は、SII((一社）環境共創イニシアチブ）以外の新規開拓はできなかった。

2) 既存関係先との連携強化は、北九州市関係の助成金技術調査の委託を受け実施した。

（補足説明）
2024年7月より、「技術経営支援Gr.」と「環境・省エネ支援Gr.」は発展的解消し、新たに「技術・環境経営・ものづくり支援Gr.」として発足し、活動を行っている。

2024年度各支援グループ活動実績

◇ 産学官連携人材育成支援Gr. ◇

1.北九州地域連携型インターンシップに関する事業

1) 研修型(短期)インターンシップ
地域のものづくり企業200社に対して受入れ登録企業100社を目指し、72社の登録を得た。併せて、北九州市立大学国際環境工学部1・2年生と産業医科大学産業衛生科学科2年生のインターンシップ受入企業の誘致を行った。

2) 実践型(長期)インターンシップ
地域のものづくり企業200社に対して受入れ登録企業20社を目指し、8社の登録に留まった。

3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業
本科（4年生）の6社中4社、専攻科（1年生）の4社中3社がKTSからの誘致となった。

2.「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業
同連絡会構成企業7社の内、石橋製作所、ニッスイマリン工業、日本鉄塔工業の3社と教育機関12校との協働で学生が風力発電について「見る」「触れる」「考える」機会を提供する業務支援によって関連企業への関心を高め、就職を後押しする活動を行った。

3.「SDGs勉強会」の開催
住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催する計画であったが、実施できなかった。

4.タイ国高度外国人材インターンシップ受入企業開拓事業
パンヤピワット経営大学(PIM)にキングモンクット工科大学ラカバン校(KMITL)を加えて2大学から高度人材10名以上の受入れる企業開拓を目指し、8社から前向きの回答があり、4社が北九州市の説明会に参加した。

◇ ISO・EA21 支援Gr. ◇

1.各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
KTSの各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携を深めることにより、EA21認証取得事業者の経営改善の支援を行った。

2. EA21認証取得事業者数の拡大
EA21認証取得事業者数は、2023年度末の321件に比べて2024年度末の登録数は328件と7件増加する結果になった。（新規登録13件、取り下げ7件）

3.ISO認証維持・新規取得支援
ISO、EA21の認証取得及び維持を主とした事業者の支援として、内部監査員養成やCO_2排出量の削減を目指した活動支援をした。

4. グループ会員の相互研鑽（審査・ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ技術の向上）
グループ研修会（Web開催）を5回実施した。また、グループ会員の協力により「EA21事例集」の改訂版を発行した。

5.「エコアクション21だより（KTS通信瓦版）」の発行
エコアクション21だより（KTS通信瓦版）」第19号を2024年7月1日発行した。なお、PDF版を地域事務局環境未来の審査全事業所に送付した。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー（No.1～2）

TAIKO
TAIKO refractories CO.,LTD.
大光炉材株式会社
〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL：093-871-1631　FAX:093-883-2151

A/Z Arizono Bespoke

総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。

ISO 13485 認証取得
MS JAB CM014
JMA MD-QMS REGISTRATION CENTER JMAQA-M021
本社における頸椎装具等の医療機器適用

義肢／装具／車いす／福祉用具／リハビリ機器
株式会社 有薗製作所
代表取締役 有薗 央
〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL http://www.arizono.co.jp

Topics 3. 北九州テクノサポート通常総会開催に寄せて

（公財）北九州産業学術推進機構　理事長　松永　守央

NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、日頃より公益財団法人北九州産業学術推進機構の活動にご協力を賜りまして衷心より御礼申し上げます。

トランプ政権による米国第一主義と関税政策が世界経済を混乱させていますが、無謀に見える方策の中にも注目すべきこともあります。その一つが製造業の回帰による中間所得層の拡大です。ICTやAIにより新しい経済構築に成功した米国では疑問が残りますが、ものづくりを大切にする北九州地域では再考に値する考えです。九州はシリコンアイランド再興の追い風に乗っていますが、過去の反省を込めて知的基盤の質的な充実が肝要です。CASEなどの知的モビリティや製鉄の電炉化のように、従来の基幹産業も大きな変革期を迎えています。

ものづくり産業はこの変革に対応しなければなりません。AIの活用やDX導入による労働生産性の向上は必須ですし、GXに対応する製造プロセスの脱炭素化、軽量化する製品に対応できる精緻な加工技術、新規な機能を発現できるマテリアルや部品の開発なども重要です。さらに変革を支える人材育成、特にリスキリングを通した人的資本経営という意識転換が求められます。このような質的変革や意識改革を地場の中堅・中小企業に普及させ、高度なものづくり地域を維持させるためには、貴会の皆様のご協力が必要です。

北九州学研都市では産学連携を進めてきましたが、イノベーションの拠点として再構築するため、G-CITY構想に基づく活動を始めています。新しい感覚や発想に富む人材を発掘し、次代を支える企業を成長させるには、豊富な知識やノウハウを持つ皆様による多様な支援が欠かせません。このような観点からも貴会のご協力をお願いしますとともに、地域産業や人材育成に貢献されることを祈念いたします。

2024年度各支援グループ活動実績

◇ IT活用支援Gr. ◇

1.NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立

広報・デザイン支援 Gr.の協力を得て、KTS通信、EA21地域事務局の情報、賛助会員企業の紹介などの更新・維持をルーティンとして実施した。

2.中小企業のIT活用支援

技術・環境経営ものづくり支援Gr.と連携して中小企業の業務効率化に向けたIT化やDX推進の相談・技術支援を実施した。

3.「第4次産業革命」勉強会の開催

中小企業のDXによる生産性向上ツール「IoT導入支援キットVer.3」の使用方法の勉強会の実施、DX推進の勉強や事例の情報収集として「北九州DXツアー（北九州市DX推進プラットフォーム主催）」や、その他団体や機関主催のDX推進セミナーに参加した。

4. テレワーク環境構築による業務効率化とCO_2削減支援

1) **テレワーク環境整備に導入したITツールの展開**率として、KTS内部ツールとして導入・運用中のMS Teamsの使い方を再度勉強し、会議の効率アップを実施した。

2) **Python・VBAプログラミングによる業務自動化**として、KTS内部の繰り返し業務の自動化を図り効率化を実現した。

◇ 販路開拓ビジネス支援Gr. ◇

1. 課題解決EXPO 2024のビジネスマッチング(BM)支援事業

2024年7月3日～5日開催の課題解決EXPO2024のビジネスマッチング（BM）支援事業を受託し、2024年1月からコーディネーター17名で活動を開始し、BM支援対象の企業は151社になり、出展企業のシーズを踏まえて地元企業377社へ紹介した。会場への来訪 橋渡し・摺合せにより876件のBM支援を実施した結果、商談可能件数117件、商談額9,114万円の成果を得た。

2. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

北九州商工会議所の会員企業への技術指導、EA21登録等の支援活動を展開した。

◇ 広報・デザイン支援Gr. ◇

1. KTS広報事業

1) **KTS通信発行による情報提供・PR**として、Vol.43(2024年夏号)及びVol.44 (2025年冬号)新年特集号を発行し、冊子配付及びPDF版メール配信を行った。

2) **KTS通信への会員企業広告掲載による広報支援**として、法人会員様(計21社)のVol.43、Vol.44広告掲載による広報支援を行った。

3) **KTS事業紹介媒体更新（課題解決EXPO2024会場用等）**として、KTS事業や会員紹介等の媒体を更新した。(販路開拓支援Gr.協働)

4) **KTSガイダンス及び事業紹介パンフレット類更新**として、広報誌配付、会員からのお届け用として広告掲載お勧めパンフレットを増刷した。

5) **KTSホームページの更新(IT活用支援Gr.との協働)**として、Vol.43、Vol.44 のHP掲載並びに会員広告のトップページ及び会員企業別ページへの掲載を行った。

6) **会員への情報提供サービス**として、広報誌や情報提供(公的情報、セミナー紹介等)を行った。

2025年度新任理事紹介 （50音順）

石川 聖二（いしかわ せいじ） 九州工業大学で画像計測（粉体体積の非接触計測、人の動作の立体モデル化等）の研究、また他大学や企業との共同研究に従事。現在計装研究会主査、北九大講師。北九州高専で画像処理教育の他に専攻科インターンシップ(IS)を支援。KTSでは学生のIS支援に貢献できれば幸いです。

川原 正明（かわはら まさあき） 2017年北九州市役所を退職。市役所では、リサイクル、分別収集、環境対策等の環境業務を長く経験しました。2023年6月からEA21地域事務局に勤務し、KTSではISO・EA21支援Gr.に所属しています。地球環境保護に今後も関わっていきたいと思いますのでろしくお願いします。

木通 和洋（きずし かずひろ） 2011年8月から行政書士として建設業許可申請手続きや経営事項審査申請手続き等を中心に代行業務を行っています。また、2022年8月からエコアクション21審査員としても活動しています。KTSには2022年10月に入会しました。EA21認証・登録の普及に貢献できればと思います。

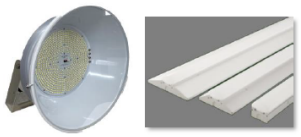
蔵元 泰子（くらもと やすこ） 民間企業での業務経験後、行政書士として開業し10年目になります。これまでに許認可申請など多岐にわたる案件を担当してまいりました。またエコアクション21審査員としても活動し環境経営への理解を深めています。幅広い実務経験を通じてKTSのお役に立てるよう努めてまいります。

納富 信（のうどみ まこと） 日鉄プラント設計（旧）で高炉等の設計、構造解析、CAEシステム開発業務に従事。退職後は技術士事務所として、佐賀大学理工学部講師、技術士受験指導、製造業の技術対応業務等に携わる。今後は製造業の収益向上の為のIT活用やビジネスマッチング推進に貢献したい。

増本 耕平（ますもと こうへい） JFEエンジニアリング及び西日本プラント工業にてプラント関連の設計、建設業務に携わり、また蛍光管・電池の廃棄物処理会社で環境及び技術開発に携わってきた。現在、EA21審査員として活動している。EA21新規事業者獲得のためIP、GP及びAPにおいて助勢し拡大のために尽力したい。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.3～4)

脱炭素！ 電気代７５%OFF
高効率LED照明

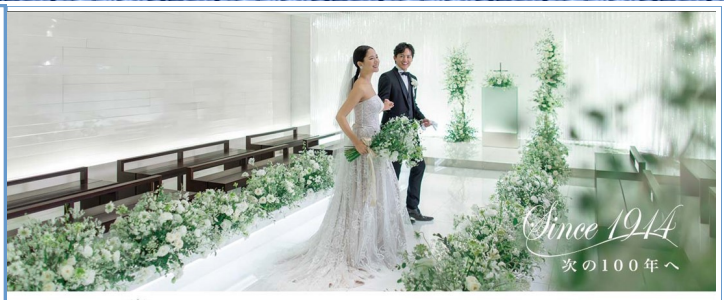


外出先から遠隔監視
Wi-Fi対応ネットワークカメラ

KOSEI JAPAN 限りある資源を未来に　地球環境に貢献！

エコアクション21 認証番号0008225

株式会社コーセイジャパン
〒800-0315 福岡県京都郡苅田町港町8-11
TEL 093-436-6136　FAX 093-436-6141
https://www.kosei-japan.com



千草ホテル Chigusa Hotel
北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
https://www.chigusa.co.jp

Topics 4.　北九州テクノサポート通常総会開催に寄せて

国立 北九州工業高等専門学校　校長 片山　佳樹

この度は、特別講演会のご開催、お慶び申し上げます。

本年4月より北九州工業高等専門学校の校長に着任いたしました。ご挨拶の機会をいただきお礼申し上げます。ご承知のとおり国立高専は、中学校卒業後5年一貫で大学修了と同等の能力を育成するユニークな高等教育機関です。実習や経験に重点を置き、未来型で創造性に富む技術者を育成することを目的としております。実践的なエンジニアを輩出して産業界に貢献してまいりました。

ただ、現在、AIの進化をはじめとする技術革新によって世界は激しく変化し始めております。この急速な変化のエンジンは間違いなくテクノロジーです。特にデータテクノロジーとネットワークやAIを基盤とする産業革命が始まっており、これまでとは比較にならない速度で社会が変貌することが予想されます。今後は、データを搾取され意思決定もネットワークに奪われるところと、データとネットワーク、AIを使いこなし、価値を生み出して発展するところに明確に別れていく危険性を孕んでいるように思います。技術開発のあり方も、ビジネスの枠組みも、顧客との関係も大きく変化を余儀なくされる時代がやってくると考えられます。本校も、エンジニアを従来の技術者の枠組みを超えて、時代に即した社会価値を生み出せる人財、新しい時代をデザインできる人財と捉え、グローバルな視点も強化しながら新しい事態に貢献できる人財の育成と研究に挑戦してまいりたいと考えております。

特に今後は産業の形態や価値を生み出すために必要な分野もより複合的になっていくかと存じます。エンジニアにも広範な分野との協業ができる豊かな感性と共感力、広い視野が求められると思います。その意味でも、さまざまな分野で豊かなご経験と知見を持っておられる皆様が集う北九州テクノサポートは新しい産業を生み出し育てていく上で大きな力を持っておられると同時に、本校のエンジニアの育成にもご支援をいただけましたらと存じます。

最後になりましたが、北九州テクノサポートの皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

2024年度各支援グループ活動実績

エコアクション21地域事務局環境未来　2024年度活動実績

1.エコアクション21導入セミナー：7月10日にZoomでリモート形式の導入セミナーを開催し、山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県（飯塚市、北九州市）の事業者を対象に、新規認証・登録事業者の拡大を目指しています。

導入セミナー・
集合コンサルティング・
実践講座（7月10日）

2.アフターフォローアップセミナー：10月16日には、既存の認証・登録事業者向けにアフターフォローアップセミナーがZoomで開催され、エコアクション21のシステム復習が行われました。講師としてエコアクション21審査員の安広審査員が登壇し、その後、推奨された4社が自社の取り組みや改善事例を発表しました。参加者からは好評を得ており、今後の活動促進に繋がると期待しています。

3.北九州市長感謝状授与：13年目を迎えた北九州市長感謝状授与制度では、環境に配慮した取り組みを行った「ひびき灘開発（株）」、「（株）稲富プレス工業所」、「三共建設（株）」の3社に感謝状と記念品が授与されました。

4.認証・登録事業者数の拡大：現在、全国で約7,550社がエコアクション21に認証・登録され、当地域事務局では約330社を担当しています。温室効果ガスの削減や環境活動に積極的に取り組む企業が増加することが、地球環境保全にとって重要であり、今後さらに多くの企業がエコアクション21を導入することを期待しています。

★KTS会員情報交換会★

KTSの活動は個々のグループ活動を中心に動いている。グループの横連携を進めるべく情報交換を目的として年数回、グループ活動を紹介し連携を深める情報交換会を行ってきたが、昨年は開催が出来なかった。グループ活動として、ロボット化を進めている地元企業でどうしても人の勘と経験で行われている工程であり、ロボット化が難しいとされていた工程にロボット導入のためのFSを段階的に進める企画を提案し、実施にこぎ着けた。また、SIIの省エネ診断実施事業者として登録され新事業を始めた。これら新たな動きが出てきており、参画者を増やす意味でも今年度はそれらの紹介を兼ねて交換会を実施したい。

★第４次産業革命勉強会★

昨年度、北九州市DX推進プラットフォーム事務局主催のDXツアーに何度か参加させていただき、地場の中小企業のDXへの取組み状況を視察し、凄く積極的に取り組んでおられる企業があることがわかった。一方、市のアンケート調査結果によると60数パーセントの企業は未だ取り組んでおらずDXへの壁を感じているのが実情であった。 そこで勉強会主催のIT活用支援Gr. では、技術・環境経営ものづくり支援Gr.と協働し、業務改善、生産性向上、品質確保等の課題に対してITを活用して解決するような事例で当法人内外と勉強を進め、DXへの取組みの壁を少しでも取り除く活動をしていきたいと考えている。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー（No.5～8）

フォーラムを活用して
インターンシップをやってみませんか？

産業人材育成フォーラムは、KTS・北九州の工学系大学と
連携し、人材育成の為のインターンシップに取り組んでいます

北九州地域産業人材育成フォーラム
（公益財団法人 北九州活性化協議会）

詳しくはコチラ

国内最大級の陶磁器・工芸品展示会!!

2025 9.19［金］▶ 9.24［水］

第47回西日本陶磁器フェスタ

西日本陶磁器　検索

西日本総合展示場　小倉駅 5分

公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
Kitakyushu Convention & Visitors Association

インバウンドのお悩みを手軽に解決！

多言語翻訳放送装置

QuaVoice

「話した言葉がすぐ翻訳できる
放送装置があったらいいな」を実現！

フレキシブルな翻訳機能

汎用性の高い放送機能

New! ニューラルＴＴＳエンジンを搭載
紹介動画もリニューアル

Youtube

Certified Products

「北九州発！新商品創出事業」
認定商品に選ばれました！

株式会社カンノ製作所
https://kanno.co.jp

［本　社］〒802-0022　北九州市小倉北区上富野 1-5-25
TEL (093)521-9531　FAX (093)511-6470

九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028　北九州市門司区下二十町2番30号

取扱製品

分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・フックボルト・ケミカルアンカー
トンネル用H型支保工・鉄道車両部品
道路照明灯・タイプレート・記念品事業

特 別 講 演

不許複製

演題:「人口移動と大学の対応～情報イノベーション学部の設置～」

講演者: 公立大学法人　北九州市立大学　学長　柳 井　雅 人 様

1. 東京一極集中と地域的な男女比率格差

ここでは、日本における人口移動の特徴と、それに対する地方大学の対応について、北九州市立大学の現状および今後の施策を踏まえてお話しします。特に東京圏や福岡都市圏への人口流出と、周辺の地方都市の人口減少という日本全体の構造的問題を背景に、北九州市立大学の果たすべき役割と新学部の設立意義を説明します。

まず冒頭では、東京圏集中の加速が特に「女性の移動」によって、さらに強化されている現状を紹介します。具体的には、女性の東京圏への転入超過が顕著であり、これは周辺地域の男女人口のバランスを崩し、出生率のさらなる低下を招く「低出生率のブラックホール」と化していることを指摘します。出生率の低い東京圏が単なる人口吸引力を持つ中心都市というよりも、日本全体の人口減少を加速させる根本要因であるという認識があります。

2. 九州における福岡一極集中

ところが、九州地域でも福岡市を中心に同様の構図がみられ、北九州市も福岡市への若年女性の移動が顕著であることを指摘することができます。2020年のデータでは、北九州市からの女性の転出が多く、福岡市へ転入する者が多くなっています。これは、両都市の間で、労働生産性の格差や就業機会の不均衡が主な要因となり、北九州市では女性の就業先が低い生産性の産業に偏っていることがその背景にあります。したがって、北九州市における生産性の向上は単なる人員整理や効率化ではなく、給与改善や事業拡大を通じて行われ、人口の定着を図るべきであると思います。また、統計データを見ると、周辺地域から人口を集める地方中枢都市が、せっせと東京圏に多くの人口を送り出していることがわかります。地方の都市は東京と地方中枢都市の2段階で人口を流出させているのです。地方都市の間における女性の集中や労働生産性の地域間格差も明らかであり、これらの構造的問題に対して、自治体や地方大学がどう向き合うかが大きな課題となっています。

3. 北九州市立大学の対応

こうした人口動態に対して、北九州市立大学は「人材供給と定着」「産学連携」「地域貢献活動」の3つの視点からその課題解決を図っていきたいと考えています。卒業生の学生比率は女性が過半数を占めています。また、入学者に占める市内高校出身者と、市内就職者の割合はそれぞれ2割程度であり、学生総数が6,700名（公立大学で3番目の規模）を擁し、人口の“ダム機能”として、地域内に人材を留め、流出を抑える役割を果たしています。今後は、より一層の地元定着を推進することが期待されています。

産業の動向という側面からも、福岡市への人口移動の原因を垣間見ることができます。第4次産業革命と呼ばれる現代において、ITやAI技術、データサイエンスなどが進展し、こうしたスキルを使う情報、金融、保険、不動産業などが多く集積する福岡市に、卒業生の多くが移出することとなって特に本学の北九州市における情報産業の就職者数は、福岡市のほぼ半数となっています。図1に示すようにシビックプライドの醸成を図りながら、文理融合・横断型の教育、研究によって、こうした高度情報人材を育成し、地元に定着させるとともに、地域社会全体のDX、GX（グリーントランスフォーメーション）化を推進する必要性があります。

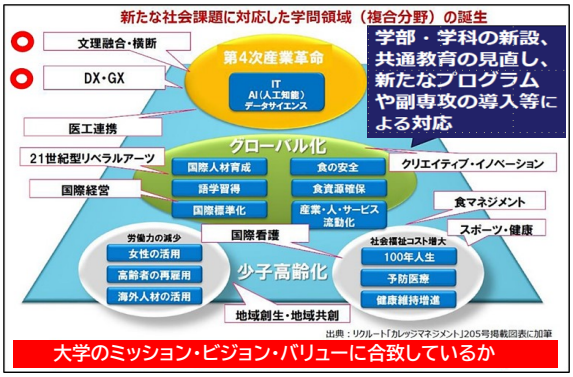


図1　求められる新しい社会課題（メガトレンド）への対応

4. 小倉旦過地区での新学部設置

こうしたことを背景として、当大学は新たな取り組みとして図2に示す「情報イノベーション学部」を設置する計画を立てています。これは「情報エンジニアリング学科」と「共創社会システム学科」の2学科から成ります。前者はAIやロボティクス、セキュリティなどの先端技術を活用する高度な情報技術人材の育成を目指し、後者は環境・エネルギー問題やGX推進などに取り組むデジタル人材の育成を目的としています。

学部名称（仮称）	情報イノベーション学部
学科名称（仮称）	情報エンジニアリング学科（入学定員：６８名） 共創社会システム学科（入学定員：５０名）
入学定員	１１８名（収容定員４７２名）
学位	学士（情報工学）
開設時期	令和９（２０２７）年４月
設置場所	未定（小倉都心部の設置を要望）

◆情報エンジニアリング学科

・養成する人材
情報工学の先端技術を駆使する高度人材

・教育内容
ＡＩ、ロボティクス（ロボット工学、センサー技術等）、セキュリティ（暗号化技術等）、画像処理、データ構造設計とアルゴリズム開発等

◆共創社会システム学科

・養成する人材
ＧＸ推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材

・教育内容
エネルギー環境学、環境経営戦略、環境ビッグデータ解析、ソーシャルビジネス　等

図2　情報イノベーション学部の概要（予定）

この新学部の設置は単なる大学の規模拡大ではなく、地域産業政策やまちづくりに直結したものとなっています。産業面では、市内のIT企業との共同研究や、企業ニーズに応じた人材供給、さらには産学連携による実践的教育が計画されています。PBL（課題解決型学習）、長期インターンシップ、奨学金制度なども盛り込まれており、これにより学生は在学中からスキルの社会実装や企業活動への接続性を高めることができます。

5. 企業連携と地域振興への関与

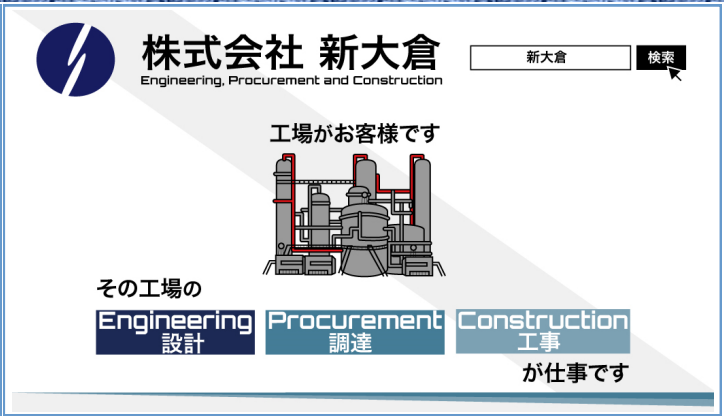
まちづくりの観点からは、500名に近い学生、教職員が都心部に集まることにより、にぎわいの創出や経済的波及効果にも寄与します。若者の地域活動への参画が重視されており、地域に根ざした教育機関としての存在感を高めることを狙いとしています。特に小倉都心部に集積する情報サービス企業群との連携により、教育と実業を結びつけ、即戦力人材を養成する具体的な枠組みが示されています。2025年５月までで10社に及ぶ提携を結び、今後、約30社程度の企業と連携協定を結ぶ予定です。すでに連携企業とはキックオフミーティング（EPOCH）を開催しており、教育体系やテキスト出版の協議を進めております。またこれを呼び水として、更なる情報サービス産業の立地、集積が期待されます。

このように、北九州市立大学は今後の地域の存続と発展を担う重要なプレイヤーとして、地域の課題解決と社会変革に資する新しい学びの場を創出しようとしています。その取り組みは単なる教育機関としての役割を超え、地域社会のイノベーション拠点としての位置づけを確かなものにしようとする挑戦でもあります。

以上のように本講演は、人口動態と地域経済、大学教育の接点に立脚しながら、地方都市と大学の未来を切り拓くための包括的な戦略を提示するものとなっています。これは単なる1大学の事例ではなく、日本の地方創生における重要なヒントを含んでいると我々は考えています。

最後に、こうした大学の取り組みを継続的に支えるために、是非地域の方々や設置の意図に共感される方々からご支援を賜りたいと思います。大学が地域において重要な役割を果たすためには、官民の連携、そして地域住民を含む多様なステークホルダーの理解と協力が必要であり、今後の大学経営の持続性にも直結していると思います。

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー（No.9～10）



2025年度事業計画

■組織

活動組織は、6支援グループ及びEA21地域事務局の体制とし、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、活性化を進める。

■運営方針

本年度は、既存受託事業の新事態への適応力を関係機関と連携して確立する。次に、企業が置かれている困難な状況に公的施策と連携して地域企業への応援に力を入れ、収益力強化のため新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の支援を進める。

KTS事業を支える人材の入会促進と急速に変化する社会・経済環境に対応するための会員自身のリスキリング及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大いに活用した勉強会・研究会の充実と相互連絡会を開催し会員の力を結集するとともに、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を整え積極的に推進する。

■実施計画

1. 技術・環境経営ものづくり支援 Gr.（Gr.長：吉田 剛）

(1) 技術支援活動
 1) 地場の産・学・官連携を活用した企業課題の解決に向けた支援活動の促進
 2) KTS他活動と連携、企業課題の把握とコンタクトによる課題抽出体制強化
 3) よろず相談の対応力の強化
(2)KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR
 1) グループメンバーのキャリアと資格などのリスト化と、活躍の場の探究
 2) 技術研修会等の企画（2回/年程度）
(3)補助金等を活用した中小企業の技術力向上支援
 1) 中小企業向け（技術関係の）各種補助金獲得の支援の推進
(4) 公的機関からの仕事の受託促進
 1) 公的機関（国・県・市）からの委託事業の開拓
 2) 既存関係先との連携強化

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.（Gr.長：影山 隆雄）

(1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
 1) 研修型(短期)インターンシップ
 2) 実践型(長期)インターンシップ
(2)「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業
(3) タイ国高度外国人材インターンシップ受入企業開拓事業
(4)「SDGs勉強会」の開催

3. ISO・EA21 支援 Gr.（Gr.長：古谷 長蔵）

(1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
(2) EA21認証取得事業者数の拡大
(3) ISO認証維持・新規取得支援
(4) グループ会員の相互研鑽（審査・ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ技術の向上）
(5)「エコアクション21だより（KTS通信瓦版）」の発行

4. IT活用支援 Gr.（Gr.長：堀 昭三）

(1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
(2) 中小企業のIT活用支援
(3)「第4次産業革命」勉強会の開催
(4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO_2削減支援
 1) テレワーク環境整備に導入したITツールの展開
 2) Python・VBAプログラミングによる業務自動化

5. 販路開拓ビジネス支援 Gr.（Gr.長：堀 昭三）

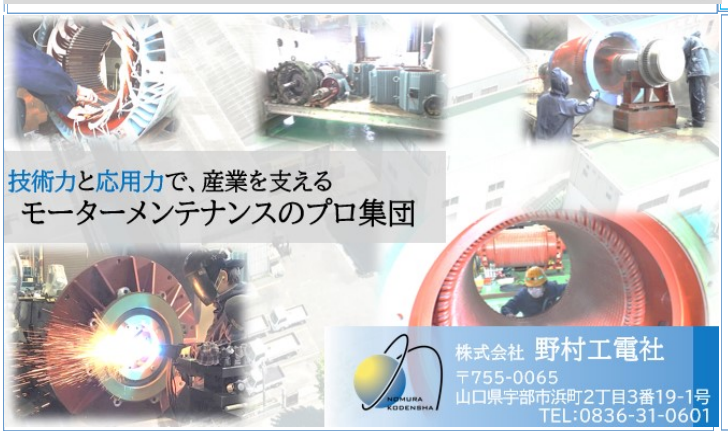
(1) 課題解決EXPO 2025のビジネスマッチング(BM)支援事業
(2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

6. 広報・デザイン支援 Gr.（Gr.長：林 慶三郎）

(1) KTS広報事業
(2) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
(3) KTS広報事業関連情報管理

KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@npo-kts.org までどうぞ！

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー（No.11～16）



エコアクション21地域事務局環境未来　2025年度事業計画

1. エコアクション21（EA21）導入セミナー開催
福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プログラム,福岡ひびき信用金庫、山口FGのアクセラレーションプログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。

2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム、アクセラレーションプログラム開催
認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。

3. 認証・登録業務推進
登録審査（新規、中間、更新）、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催する。

4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催
認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催する。

5. エコアクション21審査員の力量向上研修会開催
広島県、山口県、福岡県、大分県、佐賀県のEA21審査員を対象に、「力量向上研修会」を開催する。

6. 永年継続認証・登録事業者に感謝状授与
永年エコアクション21に取り組んでこられた事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与する。

7. 北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申
北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申する。

8. 当地域事務局環境未来での認証・登録事業者（約330社）
地球環境保全のためには中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となってきています。

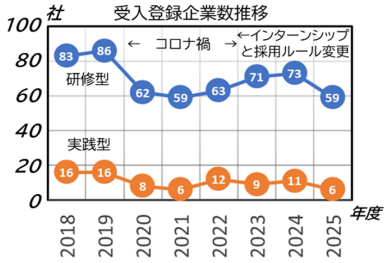
1社でも多くエコアクション21の認証を取得されますよう働きかけて参ります。

2025年度事業活動開始状況

☆2025年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

―― 北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働 ――

北九州地域産業人材育成フォーラムの地域連携型ISPは、地域の理工系大学の学生の地元企業就職率向上に大きな役割を果たしています。KTSは、3月下旬から候補企業約300社に対してコーディーネーター15名で受入登録企業開拓を行っていますが、図に示すように研修型（短期）と実践型(長期)ともに2023年度から始まったインターンシップと採用ルール変更の影響が出ています。



☆展示会ビジネスマッチング(BM)活動

―― (公財)北九州観光コンベンション協会との協働 ――

（公財）北九州観光コンベンション協会（KCV）主催の「課題解決EXPO2025」が7月2日～4日（3日間）、西日本総合展示場にて開催され、出展社289社、来場者数20,000人が予想されており、KCV様において集計・公表されます。

このイベントにおいて、当法人は、地場の中小企業様が抱える生産性向上、人材不足、脱炭素といった課題を解決できる出展企業やソリューションを紹介し、商談へとつなげる支援活動（ビジネスマッチング：BM）を行っています。

今年は、15名のコーディネーター体制で臨み、1月から準備を進め、3月に出展社企業26社のシーズ説明会に参加し、商品等の売込み情報を得て、中小企業への商品紹介、会場への来場をお願いしてまいりました。

多くの来場者への会場案内、出展社や商品のご紹介、商談が進み、大きな成果につながることを期待してフォローアップを進めています。

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー（No.17～22）

ガラスレンズ金型（超硬合金製）

自動車の自動運転技術に必要なカメラやセンサーに使用されるレンズを製造するには弊社の『超精密加工技術』が必要です。

サブミクロン形状精度　1/1000mm 以下

夢のあるものづくり
株式会社ワークス
WORKS Co., Ltd.
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL：093-291-1778　FAX：093-291-2728

ステンレス・アルミニウム・チタン
金属研磨で“価値”を与える会社
東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO.,LTD.
〒818-0131　福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL：092-928-3733(代)　FAX：092-928-5430(代)
e-mail：info@toyo-kenma.co.jp
HP：https://www.toyo-kenma.co.jp/

Matsushima
Matsushima Measure Tech
「現場の見える化」を実現する

株式会社 マツシマ メジャテック
〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731　FAX 093-691-3735
お問合せはコチラ
マツシマメジャテック　検索

ベストプランをご提案します！
SANEI
三栄機工株式会社
福岡県知事許可（般-21）第99106
http://www.sanei-kikou.com/
選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー
設計・施工・修理・メンテ

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5　TEL 093-434-2737

POINT 01　安全・迅速　３Ｄ同時計測
POINT 02
北九州オンリーワン企業
ドローンによる目視検査（空撮）
30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載

POINT 03　高精度
POINT 04　直観的!!
計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL：093-642-8231

プロライト株式会社
PROLIGHT
水銀灯に代わる次世代照明
無電極ランプ エコ太郎
■無電極ランプ「エコ太郎」製造
■高天井・検品・検査照明
■スポーツ・体育館照明
MADE in JAPAN
明るいのにまぶしくない

Electrodeless Lamp
ECOTARO
省エネ　消費電力は水銀灯の1/3
長寿命　寿命はLEDの約1.5倍

北九州テクノサポート会員企業の事業所めぐり

お問い合わせは TEL 093-873-1453
e-メール　info@npo-kts.org

株式会社　プロサービス（はやま行政書士事務所）

令和6年9月にKTSご入会された同社への定期広報誌の初取材として、令和7年6月2日に、はやま行政書士事務所長波山一郎様にお話をお伺いしました。（寺山理事・林理事）

■会社の沿革と業況

同社は、1996年8月に波山一郎氏が福岡市東区に行政書士事務所を開業。当時は全国でも珍しかった廃棄物処理業専門の事務所として発足して以来29年の年月を環境関連企業の皆様や行政庁の方々と共に歩んで来ました。当時はまだ環境保護や対策より廃棄物の処理に重点が置かれていた時代でしたが、より早く環境への取組を開始された地場大手企業様の環境事業部門立ち上げの認可に始まり、現在は物流倉庫認可や環境配慮型建設工事のアシストなども業務としている。

■今後の展開と課題

29年の年月はお取引様の世代交代も進み、開業初期には当時小学生だったご子息が社長へ。「若い社長」は会社の環境影響にも敏感で、それがお取引先様とのサプライヤーを続けて行くための重要なミッションであることを理解されています。コロナ過で順風満帆だった事業の業績が逆転し苦境のお客様が多いのも事実ですが、同所が知る若い経営者層は「踏張る力」も持っておられます。ただ混沌の時には「人は焦って法を犯してしまうのも事実」。同所はこれまで「適法ではないリスクをお客様が事前に回避できること」を存在意義としてきました。目の前の利益に隠れて脱法は目に見えず。法務組織を持つ大企業でさえも「間違えた解釈＝違法」は存在してしまいます。許認可、法令の解釈などは企業様のプロジェクト推進の要です。同所はこれまで、そしてこれからも皆様のお役に立つ助言者でいられるよう精進しておられます。また、エコアクション21新規認証登録を目指す企業様、既にご登録の企業様のコンサルティング、審査員としての活動にもますますの注力を進めておられます。

■KTSへの期待

KTS様のEA21地域事務局の環境未来さんには、受審者様に親身な審査員が数多く在籍中です。建設や産廃の認証企業獲得には入札や優良認定など「本業の利得のPR」も不可欠。弊所も微力ですが協働をお約束します。

◇会社概要

■所在地：福岡市東区香椎浜2丁目5-2-107号　■TEL：092-410-8275
■代表者：代表取締役　酒井　千恵　■設立：1996年8月
■資本金：　10万円　■従業員数：2名
■事　業：・官公庁許認可（倉庫、運輸、建設、環境）の代理業務及びコンサルタント業務
・企業の行政提出各種資料作成・集計、技術的な契約書等の作成
（税務、社会保険を除く）
URL：https://www.ea21-pro-srv.com

株式会社　千草

令和7年5月30日に、同社本社でもある千草ホテルを訪問、小嶋代表取締役社長様及び武部経営管理部長様にお話をお伺いしました。（寺山理事・林理事）

■会社の沿革と業況

同社は、1914年に料亭千草を創業し1941年に㈱千草を創立、本年で創業112年を迎える都市型ホテルの老舗である。旅館・料亭でのおもてなしの根幹が受け継がれ、お客様の規模やご希望に沿って「大事な一日、記念の一日」を心ゆくまで楽しんで頂ける心くばりをモットーとした「アニバーサリーデザイン・カンパニー」を自負されている。2022年開設の6Kozzy（シックスコージー）では冷食等の通販・卸販等も行い、コロナ禍回復以降は品揃えを見直し、世界中のおいしいものをお届けしている。顧客満足度を高めるべく、「優秀な人材の育成」をOJTでの習熟と共に外部でのリーダー研修等も行っている。企業の社会的責任として「SDGsの取組み、環境保全への貢献」を重視し、ホテル業としていちはやくEA21に取組み、既に2019年には同認証10年表彰も授与され、可食フードロス100%を実現しており、北九州市のSDGs登録制度にも参加し活動を継続している。国内外発信としてHP/SNSの充実化を図っており、業務への生成AI活用による効率化等も進めている。

経営環境としては一連のコロナ禍による市場収縮の影響は大きく、現時点でインバウンドを含む需要の回復は進んでいるものの十分ではなく、又、社会的要因での需要減は業界として、また同社としての大きな課題の一つである。

■今後の展開と課題

地域的に観光や環境に恵まれ、地域創生への積極的関与を通じて需要喚起や地域貢献を更に進めるが、取組み事例としては、ホテル屋上での皿倉山を望むジャグジーや中庭での小動物とのふれあい等を実現し、内外顧客に喜んで頂き、更なる「おいしさ、楽しさ発信」により皆様に興味を持ってご来場頂けるホテルを目指すプロジェクトを進めたい。今後も北九州市内に拠点を置き、ご宿泊は無論のこと、ご宴会・会議場、ウエディング、お祝い・会食やご法事、レストラン、仕出しやテイクアウト等の各々の事業において皆様方とのご縁を更に深め、「至福のひととき」をご提供してまいりたい。

■KTSへの期待

熟成したEA21活動の今後の進め方やホテル業界でのロボット化の推進、地場企業や関連機関・団体等に関するKTSからの情報発信に期待します。

◇会社概要

■所在地：北九州市八幡東区西本町1丁目1番1号　■TEL：093-671-1131
■代表者：代表取締役社長　小嶋　亮　■設立：1941年1月
■資本金：　5,000万円　■従業員数：112名
■事　業：ホテル、ブライダル（式場運営、貸衣装、美容、装花、写真＆映像）、レストラン　（関連施設）：鞘ヶ谷ガーデンアグラス、北九州市立美術館カフェ・ミュゼ、ドレスノッツエ、ジュシ―シャッター、6Kozzy
URL：https://www.chigusa.co.jp

会員動静

NPO-KTS在籍（2025年7月10日現在）	
正会員	法人会員（賛助会員・協賛会員）
67	22組織

新組織体制

<NPO-KTS新組織体制>

2025年7月度理事会（6/30開催）において会長以下三役が定款に則り、選出された。

会長	吉田 剛
副会長	古谷 長蔵
	影山 隆雄
事務局長	堀　昭三

新会長挨拶

よしだ　つよし
吉田　剛

影山会長退任を受けて、新たに会長を拝命することになりました。2度目の登板となりますが、経験を活かしながら新時代の動向もしっかり把握し会員の皆様と共にイキイキとした未来を語りましょう。年齢を問わず志を同じくする方々の加入も呼掛け、社会貢献の力を強化するため定款を改訂しました。AIの進化など時代の変化に追従し、過去から受け継いだ良き日本の技術や協力精神を大切にしながら、地域社会の発展に寄与したいと願っています。

これまで活躍された退任役員に感謝すると共に、新任役員になられた方々、全会員の皆様と志をひとつにして組織を盛り立てて行きましょう。

検索　北九州テクノサポート

http://www.npo-kts.org/

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードできます。

NPO法人　北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.45」
2025年7月10日　発行
編集・発行：NPO法人北九州テクノサポート（広報・デザイン支援Gr.）
北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号
TEL/FAX：093-873-1453　E-mail：info@npo-kts.org